

## 平成 30 年度 第 4 四半期（平成 31 年 1 月～3 月）景況動向調査結果

十和田商工会議所 中小企業相談所

### 1. 調査対象

(1)対象企業数 十和田商工会議所会員 25 事業所

内訳:建設業、製造業、卸売業、小売業、サービス業 各 5 事業所

(2)回答企業数 有効回答=24 事業所(回答率 96%)

### 2. 調査対象期間

今期=平成 31 年 1 月～3 月

- ・前年同月比=前年同期(平成 30 年 1 月～3 月)と比べた今期の状況
- ・前期比=前期(平成 30 年 10 月～12 月)と比べた今期の状況
- ・先行き見通し=今期と比べた来期(平成 31(2019)年 4 月～6 月)の見通し

### 3. 調査期間 平成 31 年 3 月 13 日～3 月 22 日

### 4. 表示方法

本報告書中の「DI」とは、「ディフュージョン・インデックス、景気指数」の略で、各項目について、「上昇・増加」と回答した企業の割合から「下降・減少」と回答した企業の割合を引いた数値である。

DI値が 0 より上の場合=景気は上向き

DI値が 0 の場合 =景気は横ばい

DI値が 0 より下の場合=景気は下向き

## 5. 調査項目ごとの状況

### (1) 業況DI

業況DIの現況判断は▲24.9で、業種別にみると「卸売業」が0.0で最も高く、「製造業」が▲19.8で続いている。

先行きは0.1p悪化の▲25.0で、業種別では「建設業」で改善し、「製造業」「卸売業」で悪化となっている。

図表1 業況DI

	平成30年 10~12月期 (前回調査)		平成31年 1~3月期 (今回調査)		平成31年 4~6月期 (先行き)	
		前期比		前期比		今期比
全産業	▲29.1	↗	▲24.9	↗	▲25.0	↘
建設業	▲40.0	↘	▲40.0	→	▲20.0	↗
製造業	▲40.0	→	▲19.8	↗	▲20.0	↘
卸売業	0.0	↗	0.0	→	▲25.0	↘
小売業	▲24.8	↗	▲39.8	↘	▲39.8	→
サービス業	▲40.0	↘	▲20.0	↗	▲20.0	→
(参考)全国全産業	▲15.7	↗	▲16.9	↘	▲19.1	↘
(参考)東北全産業	▲24.1	↗	▲22.7	↗	▲25.4	↘

※(参考)は日本商工会議所LOBO調査の値を参照

DI = (好転の回答割合) - (悪化の回答割合)

### (2) 売上高DI

売上高DIの現況判断は▲20.6で、業種別にみると「卸売業」が0.3で最も高く、「製造業」「小売業」「サービス業」が▲19.8で続いている。

先行きは4.2p改善の▲16.5で、業種別では「建設業」「製造業」で改善し、その他の業種で減少となっている。

図表2 売上高DI

	平成30年 10~12月期 (前回調査)		平成31年 1~3月期 (今回調査)		平成31年 4~6月期 (先行き)	
		前期比		前期比		今期比
全産業	▲37.3	↗	▲20.7	↗	▲16.5	↗
建設業	▲59.8	→	▲40.0	↗	0.2	↗
製造業	▲39.8	↘	▲19.8	↗	0.0	↗
卸売業	▲40.0	↗	0.3	↗	▲24.8	↘
小売業	▲24.8	↗	▲19.8	↗	▲39.8	↘
サービス業	▲19.8	↗	▲19.8	→	▲20.0	↘
(参考)全国全産業	▲7.6	↗	▲10.4	↘	▲12.4	↘

※(参考)は日本商工会議所LOBO調査の値を参照

DI = (増加の回答割合) - (減少の回答割合)

### (3) 採算DI

採算DIの現況判断は▲33.2 で、業種別にみると「卸売業」が 0.3 で最も高く、「製造業」が▲19.8で続いている。

先行きは 12.4p 改善の▲20.8 で、業種別では「製造業」「サービス業」で改善し、「建設業」「卸売業」で悪化となっている。

図表3 採算DI

	平成30年 10~12月期 (前回調査)		平成31年 1~3月期 (今回調査)		平成31年 4~6月期 (先行き)	
		前期比		前期比		今期比
全産業	▲33.3	↘	▲33.2	↗	▲20.8	↗
建設業	▲80.0	↘	▲20.0	↗	▲40.0	↘
製造業	▲40.0	↘	▲19.8	↗	0.0	↗
卸売業	0.0	↗	0.3	↗	▲24.8	↘
小売業	▲24.8	↗	▲39.8	↘	▲39.8	→
サービス業	▲20.0	↘	▲40.0	↘	▲20.0	↗
(参考)全国全産業	▲14.4	↗	▲15.7	↘	▲16.8	↘

※(参考)は日本商工会議所LOBO調査の値を参照

DI = (好転の回答割合) - (悪化の回答割合)

### (4) 資金繰りDI

資金繰りDIの現況判断は▲8.3 で、業種別にみると「製造業」「卸売業」「サービス業」が 0.0 で最も高く、「建設業」が▲19.8で続いている。

先行きは 4.2p 悪化の▲12.5 で、業種別では「サービス業」で改善、「建設業」「製造業」で悪化となっている。

図表4 資金繰りDI

	平成30年 10~12月期 (前回調査)		平成31年 1~3月期 (今回調査)		平成31年 4~6月期 (先行き)	
		前期比		前期比		今期比
全産業	▲12.4	↘	▲8.3	↗	▲12.5	↘
建設業	▲19.8	↘	▲19.8	→	▲20.0	↘
製造業	▲19.8	↗	0.0	↗	▲20.0	↘
卸売業	0.0	↗	0.0	→	0.0	→
小売業	0.0	→	▲20.0	↘	▲20.0	→
サービス業	▲20.0	↘	0.0	↗	0.2	↗
(参考)全国全産業	▲8.7	↗	▲10.4	↘	▲11.4	↘

※(参考)は日本商工会議所LOBO調査の値を参照

DI = (好転の回答割合) - (悪化の回答割合)

### (5) 仕入単価DI

資金繰りDIの現況判断は▲50.0で、業種別にみると「卸売業」を除く4業種で▲40.0で、「卸売業」は▲100.0と、全事業所が上昇の判断をしている。

先行きは12.5p悪化の▲62.5で、業種別では「小売業」で改善、「建設業」「製造業」「サービス業」で悪化となっている。

図表5 仕入単価DI

	平成30年 10~12月期 (前回調査)		平成31年 1~3月期 (今回調査)		平成31年 4~6月期 (先行き)	
		前期比		前期比		今期比
全産業	▲43.5	↘	▲50.0	↘	▲62.5	↘
建設業	▲20.0	→	▲40.0	↘	▲60.0	↘
製造業	▲40.0	↘	▲40.0	→	▲80.0	↘
卸売業	▲80.0	→	▲100.0	↘	▲100.0	→
小売業	▲50.0	↘	▲40.0	↗	▲20.0	↗
サービス業	▲40.0	→	▲40.0	→	▲60.0	↘
(参考)全国全産業	▲39.6	↗	▲40.6	↘	▲40.0	↗

※(参考)は日本商工会議所LOBO調査の値を参照

DI = (下落の回答割合) - (上昇の回答割合)

### (6) 従業員DI

従業員DIの現況判断は0.2で、前期からほぼ横ばい。業種別にみると「建設業」を除く4業種でやや人手不足感が弱まっている。

先行きは横ばいの0.2で、全業種で横ばいとなっている。

図表6 従業員DI

	平成30年 10~12月期 (前回調査)		平成31年 1~3月期 (今回調査)		平成31年 4~6月期 (先行き)	
		前期比		前期比		今期比
全産業	0.4	↗	0.2	↘	0.2	→
建設業	0.2	↘	0.2	→	0.2	→
製造業	0.2	↗	0.0	↘	0.0	→
卸売業	0.4	↗	0.3	↘	0.3	→
小売業	0.5	↗	0.0	↘	0.0	→
サービス業	0.8	↗	0.6	↘	0.6	→
(参考)全国全産業	25.8	↗	25.5	↘	25.8	↗

※(参考)は日本商工会議所LOBO調査の値を参照

DI = (不足の回答割合) - (過剰の回答割合)

## 6. 業況感等に関する自由記述

コメント	業種
人手不足は大変深刻な状況。業務継続にも影響が出てくる。特に建設業者が多い十和田市では、業務を維持できず淘汰されていくと思う。	建設業
仕入品、資材等の値上りが続いている。	卸売業
若手社員不足のため、定年退職者の業務の引継ぎに支障が起きている。	卸売業
客数・客単価が減少している。	小売業
人材確保に苦戦している。	サービス業
人手不足により、やりたいことができず、結果的に売上を伸ばせずにいる。	サービス業